



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 東映株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9605 URL http://www.toei.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 安田 健二 (TEL)03(3535)4641  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	89,430	3.8	9,670	11.1	11,446	7.3	5,767	3.6
25年3月期第3四半期	92,972	4.9	10,878	9.3	12,344	8.6	5,980	10.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 11,344百万円(60.4%) 25年3月期第3四半期7,072百万円(20.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	45 70	
25年3月期第3四半期	47 37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	222,943	137,170	50.1
25年3月期	224,159	127,233	46.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 111,711百万円 25年3月期 103,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		3 00		4 00	7 00
26年3月期		3 00			
26年3月期(予想)				3 00	6 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期 期末配当4円00銭には、特別配当1円00銭が含まれております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,700	8.5	11,000	21.9	12,500	19.8	6,200	8.2	49 13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	147,689,096株	25年3月期	147,689,096株
期末自己株式数	26年3月期3Q	21,502,599株	25年3月期	21,498,015株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	126,189,310株	25年3月期3Q	126,248,480株

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策などによって輸出や生産が持ち直し、個人消費も雇用・所得環境が改善するなかで底堅く推移するなど、景気回復に向けた動きがあるものの、米国金融政策を巡る思惑や新興国経済の減速に対する懸念などを背景に、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況のなかで当社グループは、映像関連事業におきましては、映像3部門（映画製作配給業・ビデオ事業・テレビ事業）の連携強化や興行関連事業・催事関連事業の積極展開等によって収益の拡大をはかるとともに、観光不動産事業・その他事業の各部門におきましても厳しい事業環境に対応して堅実な営業施策の遂行に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は894億3千万円(前年同四半期比3.8%減)、経常利益は114億4千6百万円(前年同四半期比7.3%減)となり、四半期純利益は57億6千7百万円(前年同四半期比3.6%減)となりました。

次に各セグメント別の概況をご報告申し上げます。

なお、セグメント損益は、営業利益ベースの数値であります。

#### 映像関連事業部門

映画製作配給業では、提携製作作品等24本を配給し、「劇場版 仮面ライダーウィザード インマジックランド/劇場版 獣電戦隊キョウリュウジャー ガ布林チョ・オブ・ミュージック」がヒットしたほか、「仮面ライダー×スーパー戦隊×宇宙刑事 スーパーヒーロー大戦Z」「映画ドキドキ!プリキュア マナ結婚!!?未来につなぐ希望のドレス」「探偵はBARにいる2 ススキノ大交差点」「仮面ライダー×仮面ライダー 鎧武&ウィザード 天下分け目の戦国MOVIE大合戦」「利休にたずねよ」が好調で、「キャプテンハーロック」が堅調な成績を収めました。また、「HK 変態仮面」も小規模展開ながら好稼働しました。なお、前事業年度における公開作品のうち「ドラゴンボールZ 神と神」(3月30日公開)が引き続き大ヒットしました。

ビデオ事業では、「ONE PIECE FILM Z」「ドラゴンボールZ 神と神」等、主力の劇場用映画のブルーレイ・DVD作品が好調でした。

テレビ事業では、「相棒 season12」「科捜研の女」等を制作して作品内容の充実と受注本数の確保に努め、キャラクターの商品化権営業が好調に推移しました。

そのほか、劇場用映画等のテレビ放映権及びビデオ化権等を販売し、アニメ関連では、「ドラゴンボール」シリーズの国内版權事業が好調でした。

以上により、当部門の売上高は578億1千9百万円(前年同四半期比2.4%減)、営業利益は67億6千5百万円(前年同四半期比12.2%減)となりました。

#### 興行関連事業部門

映画興行業では、(株)ティ・ジョイ運営のシネコンが堅調に稼働し、194スクリーン体制(東映㈱直営館4スクリーン含む)で展開しております。

以上により、当部門の売上高は133億4千8百万円(前年同四半期比16.4%減)、営業利益は12億3百万円(前年同四半期比19.1%減)となりました。

#### 催事関連事業部門

催事業では、「ワンピースグランドアリーナツアー」や「スヌーピー×日本の匠展」、人気キャラクターショーなど各種イベントの提供を行うとともに、映画関連商品の販売など積極的な営業活動を展開いたしました。また、東映太秦映画村も引き続き好調に推移しました。

以上により、当部門の売上高は81億2千1百万円(前年同四半期比4.5%増)、営業利益は16億2千3百万円(前年同四半期比2.6%増)となりました。

#### 観光不動産事業部門

不動産賃貸業では、「プラッツ大泉」「オズ スタジオ シティ」「新宿三丁目イーストビル」「渋谷東映プラザ」「仙台東映プラザ」「広島東映プラザ」等の賃貸施設が堅調に稼働いたしました。ホテル業においては、回復傾向にある需要に伴う集客競争による価格競争の激化により、業界環境は厳しい状況にありましたが、各ホテルとも収益の確保に向け懸命に営業活動を展開いたしました。

以上により、当部門の売上高は44億2千3百万円(前年同四半期比3.0%減)、営業利益は15億8千8百万円(前年同四半期比9.7%減)となりました。

#### その他の事業部門

その他の事業では、景気の先行きが不透明な状況のさなか、堅実な営業活動を展開いたしました。

その結果、売上高は57億1千7百万円(前年同四半期比4.9%増)、営業利益は1億9千7百万円(前年同四半期比0.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における総資産は、2,229億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億1千6百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が18億8千9百万円、受取手形及び売掛金が13億5千5百万円、有形固定資産が9億6千5百万円、繰延税金資産が18億7千5百万円減少し、投資有価証券が63億円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間における負債の部は、857億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ111億5千2百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が49億2千1百万円、1年内返済予定の長期借入金が12億5千9百万円、1年内償還予定の社債が50億円、未払法人税等が20億3千7百万円減少し、短期借入金が20億円、長期借入金が21億1千5百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間における純資産の部は、1,371億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ99億3千6百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が48億9千2百万円、その他有価証券評価差額金が33億8千2百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、第3四半期においてブルーレイ・DVD作品の販売及び国内著作権事業等が引き続き順調に稼働していることから、平成25年11月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,823	30,933
受取手形及び売掛金	14,673	13,317
商品及び製品	794	966
仕掛品	6,712	6,337
原材料及び貯蔵品	521	307
その他	5,124	4,817
貸倒引当金	107	161
流動資産合計	60,542	56,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,032	37,120
土地	43,889	43,912
その他(純額)	5,648	5,572
有形固定資産合計	87,570	86,605
無形固定資産		
856	856	964
投資その他の資産		
投資有価証券	62,882	69,182
その他	13,203	10,309
貸倒引当金	895	636
投資その他の資産合計	75,190	78,855
固定資産合計	163,617	166,424
資産合計	224,159	222,943
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,628	15,707
短期借入金	300	2,300
1年内返済予定の長期借入金	4,410	3,151
1年内償還予定の社債	5,000	-
未払法人税等	3,585	1,548
賞与引当金	920	387
その他	10,736	9,936
流動負債合計	45,580	33,031
固定負債		
社債	9,000	9,000
長期借入金	16,697	18,813
退職給付引当金	4,139	4,329
役員退職慰労引当金	881	926
その他	20,626	19,672
固定負債合計	51,345	52,741
負債合計	96,925	85,773

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,707	11,707
資本剰余金	21,742	21,742
利益剰余金	65,776	70,669
自己株式	7,515	7,518
株主資本合計	91,710	96,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,919	6,301
繰延ヘッジ損益	172	320
土地再評価差額金	8,532	8,500
為替換算調整勘定	126	12
その他の包括利益累計額合計	11,498	15,111
少数株主持分	24,025	25,458
純資産合計	127,233	137,170
負債純資産合計	224,159	222,943

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	92,972	89,430
売上原価	63,165	60,680
売上総利益	29,807	28,750
販売費及び一般管理費	18,928	19,080
営業利益	10,878	9,670
営業外収益		
受取配当金	424	539
負ののれん償却額	60	-
持分法による投資利益	1,198	1,362
その他	284	337
営業外収益合計	1,968	2,238
営業外費用		
支払利息	466	371
その他	36	91
営業外費用合計	502	462
経常利益	12,344	11,446
特別利益		
投資有価証券売却益	2	22
ゴルフ会員権償還益	-	21
負ののれん発生益	72	-
保険差益	56	-
その他	2	4
特別利益合計	134	48
特別損失		
減損損失	241	72
貸倒損失	221	-
固定資産除却損	45	74
その他	38	11
特別損失合計	547	158
税金等調整前四半期純利益	11,932	11,336
法人税、住民税及び事業税	3,611	3,842
法人税等調整額	412	214
法人税等合計	4,024	4,056
少数株主損益調整前四半期純利益	7,907	7,279
少数株主利益	1,927	1,512
四半期純利益	5,980	5,767



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,907	7,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,027	3,136
土地再評価差額金	3	3
為替換算調整勘定	12	265
持分法適用会社に対する持分相当額	182	666
その他の包括利益合計	835	4,065
四半期包括利益	7,072	11,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,274	9,408
少数株主に係る四半期包括利益	1,797	1,935

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	映像関連 事業	興行関連 事業	催事関連 事業	観光 不動産 事業	その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	59,223	15,963	7,775	4,558	5,450	92,972		92,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,818	112	334	602	138	3,005	3,005	
計	61,042	16,076	8,109	5,161	5,588	95,978	3,005	92,972
セグメント利益	7,705	1,486	1,582	1,758	196	12,728	1,849	10,878

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事・室内装飾請負等に関する事業、物品の販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 1,849百万円には、セグメント間取引消去 128百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,721百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	映像関連 事業	興行関連 事業	催事関連 事業	観光 不動産 事業	その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	57,819	13,348	8,121	4,423	5,717	89,430		89,430
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,531	128	352	639	348	3,001	3,001	
計	59,351	13,477	8,474	5,062	6,066	92,431	3,001	89,430
セグメント利益	6,765	1,203	1,623	1,588	197	11,378	1,707	9,670

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事・室内装飾請負等に関する事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 1,707百万円には、セグメント間取引消去 76百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,631百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。